1年学年だより

発行日：令和８年 10 月 30 日（金）
発行者：横浜市立南高等学校附属中学校
学 校 長 ： 二 上　直 子　 N０．６

人と人とのつながりから

校長代理　海部 祐喜子

MINAMI

朝夕の風に秋の深まりを感じる季節となりました。本校の木々もすっかり秋模様となり、校庭や通学路には銀杏やどんぐりの実が落ちている様子が見られます。実りの秋は、自然の豊かさを感じるとともに、生徒の皆さんにとっても学習や部活動、学校行事などを通して積み重ねてきた努力が実を結ぶ季節です。

本校では現在、附属中学校２年生を中心に、NTT 東日本株式会社関係の皆様、給食提供事業者の皆様、横浜市の行政関係など数多くの皆様、そして地域でご協力くださる桜台花グループの皆様とともに、食品の残さから生まれる資源を活用して花を育て、その取組を GREEN×EXPO 2027 へとつなげていく活動に取り組んでいます。10 月には EGG として、多くの講師の方々から循環型の暮らしのことやウェルビーイングについて考える機会をいただきました。また、様々な分野で活躍される方々との交流を通して、仕事や生き方について学ぶキャリア教育も行いました。（既に多くのメディアにてご紹介いただいておりますが、詳しい内容については、後日学年だより等に掲載予定です。）

ウェルビーイングとは、それぞれの人が自分らしく幸せに生きることができていると感じられるよい状態のこと。そこには、心や体の健康だけでなく、人とのつながりや学びの充実も含まれるでしょう。今回の取組も、多くの方々とのつながりとご支援があってこそ実現しているものです。

本校の教育活動には多くの「人とのつながり」があります。２年生のイングリッシュキャンプでは、異なる文化や価値観に触れながら積極的にコミュニケーションを図ることの大切さを学びました。また、３年生のカナダ研修旅行では、現地の方々や仲間との交流を通して、多様な考え方を理解し、自分の視野を広げる貴重な経験を積むことができました。

生徒の皆さんには、人とのつながりを大切にしながら、自分の考えを発信し、相手の考えに耳を傾け、新しい価値を創造する人へと成長してほしいと願っています。誰かと協働することで生まれるアイデアや発見は、一人では到達できない可能性を切り拓きます。この秋の学びが、生徒の皆さんにとって未来の社会を創る当事者としての意識を育み、新たな価値を生み出す第一歩となることを期待しています。

～中学３年生　カナダ研修旅行から帰ってきた実行委員の[redacted]さんと[redacted]さんから～

実行委員長　[redacted]さん

私たち 13 期生は、「tomocore ～無限のカナダにさあいくぞ～」というスローガンのもと、カナダ研修旅行へ行ってきました。
現地で初めて英語での注文に挑戦したり、ホームステイを経験したりするなかで、自分自身の大きな成長や、たくさんの気付きを得ることができました。何より、カナダでの時間は本当に楽しかったです。14 期生・15 期生のみなさんは、研修旅行に向けて今から英単語の学習を始めておくときっと役に立ちます。本当に素晴らしい経験になるので、ぜひ楽しみにしていてください。

副実行委員長　[redacted]さん

I had many different experiences in Canada.　During my homestay, I immersed myself in their lifestyle and had very enriching experiences.
At Point Grey Secondary School, I learned about the differences between Canada and Japan. I want to use what I learned in Canada in my future.

☆彡 15期生 初めての南高祭 ☆彡

9月 11日(金)南高祭 **舞台の部『〇〇〇〇ゲットだぜ!』**

中学 1 年生にとっては初めての南高祭舞台の部、試行錯誤を重ねたクラス CM に各クラスの個性が表れていました。休み時間に振り付けやセリフの練習をしている姿を見ていたので、当日アリーナいっぱいに響いた拍手が「中学 1 年生、よく頑張ったね。」という先輩方からの賛辞に感じられました。

大人数パフォーマンスや全校企画に参加した生徒もドキドキの本番を楽しんでいたようです。高校生のパフォーマンス、バンドやダンス、劇を見て、高校生になったらやってみたいという「憧れ」を見つけられた人もいるのではないでしょうか。さあ、明日はいよいよ展示の部、来場者に楽しんでもらえるように準備万端です。

9 月 12日(土)13日(日)南高祭 **展示の部**

『PLAN→DO→CHECK→ACT サイクル実践中』

展示の部初日、来場者が続々とクラスを訪れる中、各クラス、呼び込みから受付、教室内での説明、案内など緊張の面持ちで一生懸命に対応していました。良かった点は、初日が終わった時点で、委員やクラスから出た反省を受けて、翌日に改善したことです。初日、張り切るがあまり、廊下で呼び込む声はどんどん大きくなり、来場者の数を競う、呼び込みの人数が増える、とまるで「呼び込み合戦」の様相を呈していました。もちろんより多くの方に自分たちの展示や新聞を読んでもらうことは大切です。が、「しっかりと内容を理解してもらえなければ、本末転倒になってしまう」「私たちが訴えたいことがきちんと伝わることが最も大切なことだ」という言葉が 15 期生から出てきました。

初日に出た反省点を、2 日目の朝、展示の部委員が集まって話し合いました。呼び込みの場所は教室前と中央階段とすること、人数は多すぎないこと、過剰な勧誘は控えることなどを、全クラスで統一しました。また、各クラスで、安全面を配慮し、初日と 2 日目で装飾を変更するなど、グレードアップした思いやりのある展示や接客ができました。「自主自立」自分たちでより良いものを創りあげていく 15 期生の姿に、大変誇らしい思いがしました。

『やりがいしかない仕事』　舞台の部委員　学年代表　3組 [redacted]



改めて舞台の部、本当に楽しかったです!私は舞台の部の委員会に入りながら「大人数パフォーマンス」と「クラス CM」のどちらも参加するなど、舞台の部に関して多くの面から深くかかわってきました。そこで一番大変だったのがスケジュール管理です。委員会の仕事、大人数パフォーマンスの練習、クラス CM の練習、そして、文化祭で発表する部活の準備、、、、毎日のスケジュールを把握することが少し大変でした。また、同じ日に何個も予定が被っていることもあって、昼食後からすぐ委員会、大人数パフォーマンス、クラス CM、部活と予定がみっちり埋まっている日もありました。スケジュールを組んだ時は「過労で文化祭前に倒れたりしないかな」と若干不安になっていました。

でも、私がここまで色々とやってこれたのは、やっぱり「やりがい」しかない、この舞台の部委員会が好きだからかもしれません。来年も舞台の部で活躍したい!と思いました。

『みんなで創りあげた文化祭』　展示の部委員 1組 [redacted]・[redacted]



一年一組、初めての文化祭。本当にお疲れ様でした!展示の部の委員として、他学年の人たちと協力して横断幕を作成したり、委員会の集まりに参加したりする中で、自分の視野を広げることができました。準備期間中は集まりも多く、覚えることがたくさんあったため、最初はあたふたしていました。しかし、みんなの「楽しみ!」という声を聞くたびにやりがいを感じ、「頑張らなきゃ」という気持ちになることができました。来年も展示の部の委員になり、もう一度学年のみんなを引っ張っていきたいです。

今回の文化祭でクラスの良かったところは、みんなが率先して行動していたことです。ポスターや企画書の内容を考えるときには、多くの人が手伝ってくれて、とても助かりましたし、うれしかったです。また、準備の際も次の仕事が出されるのを待つのではなく、自分から委員に聞きに来る姿が見られ、とても積極的だと感じました。シフトや準備で自分たちの時間が削られているにもかかわらず、嫌がるどころか楽しみながら取り組んでいて、本当に良いクラスだと思いました。今後もこのクラスの良さを大切にしていきたいです。

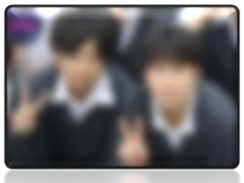
『初の南高祭、初の全体協力』　展示の部委員 2 組 [redacted]



クラスでは、準備の際に天井の装飾に力を入れてくれました。自分の仕事が終わった人から、紙飛行機を作ったり天井に貼り付けたりなど、クラス内で協力して装飾をしました。また、学校に早く来た人は、落ちてしまった装飾の補強など、活動する時間以外でも準備を進めてくれました。他のクラスよりも進みが遅いということもあったけれど、一人ひとりが自分にできることを考えて準備に協力してくれました。当日は、受付や呼び込みなど、初めての仕事で大変だったと思いますが、それも楽しみながらやってくれたのが 2 組の素敵なところです。

委員会では、初めてで分からないことも多くありましたが、委員会担当の先生が話し合いの場を設けてくれたり、南高祭に来たことのある人がアイデアを出してくれたりと、助けてもらいながら進めることができました。色々不十分になってしまったところもあったけれど、最後にはクラスの人が「楽しかった」と言ってくれたので、ここまで準備してきて良かったと思いました。

『これこそ南高祭大公倍数!』　展示の部委員 3 組 [redacted]



皆さん、南高祭展示の部は楽しかったでしょうか。今回はその展示の部の裏側について話したいと思います。クラスの準備期間では、教室のレイアウト、セクションなどを決めるのが大変でしたが、そこからは、個人個人で自分に合った作業をすることができました。例えば、背の高い人が天井の作業をしたり、絵の上手い人が黒板アートを描いたり、適材適所、準備できました。また、やることがない状態を作らないように、常にやることを探すなどして、クラスみんなで協力して南高祭のクラス展示を作り上げることができました。

委員会としては、5 月頃から物品借用、購入、机いすの在庫調査など、やることが多く大変でしたが、何とか完成させられて良かったです。当日のシフトも忙しかったですが、慣れてきて笑顔で接客することもでき、達成感がありました。様々なことで良い経験になりました。それを生かしていきたいです。

『他の人たちに支えられて』　展示の部委員 4 組 [redacted]



一番伝えたいことは、私たち委員だけでなく「全員の力で展示を作り上げた」ということです。話し合いでは、時間がオーバーするほど積極的に意見を出してくれました。また、クラス展示の教室準備では、全員が協力して準備していました。

委員になって、全校で一つのことを作り上げるのがこんなにも大変なことを初めて知りました。文化祭が近くなるにつれて、やる作業が多くなりとても忙しかったです。(期限に間に合わなかったことも…)それでも委員会の先輩や、担任の先生が支えてくれたおかげで何とかやり遂げることができました。委員としての動きを上手くやることができなかったけれど 、クラスのみんなや多くの人が協力してくれたおかげで、4 組の魅力的な展示が完成しました。

これからも団結して楽しい 1 年 4 組にしていきましょう!!

『 ワ 』　　展示の部委員 ５組 [redacted]・[redacted]



１年５組のみなさん、初めての展示の部お疲れ様でした。何も分からない状態から委員の話をよく聞いてくれ、楽しみながら準備を進められました。そして、ギリギリにはなりましたが、新聞の掲示や教室の装飾を完成させ、無事に展示の部本番に向かうことができました。本当にお疲れ様でした！

展示の部本番では、シフトを行う５組のみんなが、優しく、笑顔で対応する姿がありました。また、来場者のみなさんから「すごく楽しかった」や「みんな良く調べていてすばらしい」など、素敵なコメントをたくさんもらうことができました。

委員の私たちも、最初は分からないことでいっぱいでした。けれど、他のクラスの委員や先生、先輩方などからアドバイスをもらい、クラスをしきれるような存在に成長することができました。

１年５組のみんな、尾崎先生、ありがとうございました！

